2023 年度ガイダンスカウンセラー資格認定試験Ⅰ
実施要項

（構成団体資格ならびに公認心理師資格を有しない者）

一般社団法人
日本スクールカウンセリング推進協議会
Japan School Counseling Association

資格認定試験Ⅰ受験のご案内

1. 受験資格

受験にあたっては，次の３つの要件をすべて満たしていることが必要である。

１．大学院修士課程・専門職学位課程を修了し*1，ガイダンスカウンセラーの業務に関連した科目を履修し単位取得を認められた者（5 頁の「ガイダンスカウンセラーのカリキュラム表」に示す心理学関連領域と教育学関連領域の中から，それぞれ２科目以上が必要）。*1 2024 年３月修了見込み可

２．ガイダンスカウンセリングに関連した業務に２年以上就いた者*2（週３日未満の非常勤職の場合は４年以上）。*2 2024 年３月見込み可

３．教員免許状を有する者。ただし大学，大学院，短期大学，専修学校等でガイダンスカウンセリングに関連した授業を行っている者，ガイダンスカウンセリングの実務に就いている者は，これを免除する。

2. 受験内容

①書類審査：出願書類にもとづき，学歴，履修単位，職歴，実務経験等を審査し，受験資格の有無を判定する。

②試験（筆記・実技）：試験日は 2023 年 10 月 8 日（日）。

試験会場は東京（※詳細は，書類審査にて受験資格有と判定された者のみに後日通知する）。

試験内容（筆記・実技）は以下のとおり。

［筆記試験］

1）多肢選択式ならびに用語説明問題:『ガイダンスカウンセラー入門』『生徒指導提要（改訂版）』に準拠して出題する。（40 分）

2）論述試験：１問（40 分）

［実技試験］

1）模擬授業：ガイダンスカウンセラーの４領域（学業面，進路・キャリア面，心理・社会面，健康面）のうち１つの内容を選択して，A4 用紙１枚の指導案を事前に用意する。２人が一組になり，10 分間の模擬授業と５分間の振り返りを行う。指導案等の詳細は，出願者に別途通知する。

2）口述試験：ガイダンスカウンセラー資格とご自身の実践等について口述試験を行う。

3. 出願手順

①出願期間：2023 年 8 月 1 日（火）から 9 月 10 日（日）（消印有効）

出願期間を過ぎた場合は，いかなる理由があっても受け付けない。

②出願書類：受験の出願にあたっては，以下の 1～6 の書類を提出すること。また，各書類の記入は，3～4 頁の記入方法を参考とすること。

1．ガイダンスカウンセラー資格認定試験Ⅰ願書　様式 23_Ⅰ-1

2. ガイダンスカウンセラー資格認定試験Ⅰ願書（受験票部分）　様式 23_Ⅰ-2
3. 実務経験の自己申告書　様式 23_Ⅰ-3
4. 単位修得申告書　様式 23_Ⅰ-4
5. 卒業／修了証明書（最終学歴）　各学校の書式による
6. 単位取得証明書（最終学歴）　各学校の書式による

③受験料納入

1）受験料 10,000 円を，下記の口座に入金する。

《振込み先》金融機関：りそな銀行
支店名：茗荷谷支店（店番 461）
口座番号：普通　1475222
口座名義：一般社団法人日本スクールカウンセリング推進協議会

2）振込受領書の写しを受験票の裏面に糊付けする。
3）振込手数料は申請者の負担とする。
4）一度振り込まれた受験料の返却はしない。

④出願書類の郵送：出願書類一式を揃えて，書留郵便で事務局宛に郵送する。

《宛先》〒112-0012 東京都文京区大塚 1-4-15　アトラスタワー茗荷谷 3F
一般社団法人日本スクールカウンセリング推進協議会　ガイダンスカウンセラー係

4. 資格登録

①登録：合格者が，合格通知とあわせて郵送される振込用紙によって登録料と年会費を支払うことで，登録申請とする。

②登録料：10,000 円。

③年会費：２年分 10,000 円（2024 年度，2025 年度分）。

5. 資格更新

本資格に登録した者は，10 年経過する毎に資格更新の審査を経て資格更新をすることができる。資格更新がなされない場合は，ガイダンスカウンセラーの資格を失う。資格更新の手続きは，「ガイダンスカウンセラー資格認定規定細則」の定めによる。

6. 問合せ

問合せは電話・ファックス・メールにて受け付ける。

TEL：03-3941-8049　FAX：03-3941-8116　E-mail：info@jsca.guide

ガイダンスカウンセラー資格認定試験Ⅰの提出書類の記入方法

1. 2023 年度ガイダンスカウンセラー資格認定試験Ⅰ願書　様式 23_Ⅰ-1

①名前は自筆で記入する。

②定年等で現在の勤務先がない場合は,「元〇〇小学校教諭」のように最終の所属および職名を記入する。

③構成団体等の資格を有する者は，資格名・認定番号・取得年月あるいは加入年月を西暦で，正確に記入する。

④「教育職員免許」については，例えば「中学校教諭一種免許状（社会)」のように記入する。免許状番号・授与年月日・授与権者を正確に記入する。

2. ガイダンスカウンセラー資格認定試験Ⅰ願書（受験票部分）　様式 23_Ⅰ-2

①＊の欄をもれなく記入する。

②受験番号・会場の欄は，事務局で記入する。

③写真（最近３ヶ月以内に撮影したもの）を２ヶ所に糊付けする。写真の裏にも名前を記入する。

④裏面に受験料振込受領書の写しを糊付けする。

3. 実務経験の自己申告書　様式 23_Ⅰ-3

①「実務経験一覧表」と「実務経験申告書」の両方を記入する。

②実務経験一覧表の「教員Ａ」については，学級担任や管理職など教員としての全勤務期間を書き出す。「勤務先・役職・担当」は，例えば,「東京都中央区立〇〇小学校教諭，学級担任」,「東京都中央区立〇〇小学校副校長」のように具体的に記入する。

③実務経験一覧表の「教員Ｂ」については,「教員Ａ」の期間内で特にガイダンスカウンセリングの業務に関連した分掌について記入する。例えば,「東京都中央区立〇〇小学校教諭，教育相談部」のように具体的に記入する。

④教員以外の実務経験については，例えば,「〇〇県立総合教育センター教育相談チーム」（教育委員会，教育センター等の場合）のように具体的所属と役割を明確に記入する。複数の勤務歴のある場合は，すべて書き出す。非常勤の場合は,「非常勤，週２日」のように付け加える。

⑤大学・短期大学・専修学校に勤務する教員は，担当する授業科目名や付属する相談所の名前・役職を明記する。

⑥電話相談員・巡回相談員等は,「その他」の欄に記入する。

⑦兼任・非常勤などで，同じ年に複数の勤務経験のある場合は，ダブルカウントするので，それぞれ書き分ける。

⑧「実務経験申告書」は，ガイダンスカウンセリングの業務を遂行する熱意と資質の有無を判定するための大切な資料であるため，特に，下の点に留意し記述する。

1）勤務先・職名，期間を明記しどのような問題に対応したのか，どのようなアセスメントを

行ったのか，どのような対応をしたのか等について，その経過を具体的に記述すること。例えば，単に「不登校」「いじめ」「WISC-IV」などの用語だけでは不十分である。

2）記述にあたっては，個人情報の漏洩のないよう，十分に配慮すること。

4. 単位修得申告書　様式 23_Ⅰ-4

①大学院等で作成した「単位修得証明書」を元にして，「単位修得申告書」を作成する。

②単位を修得した授業科目名・単位数・授業担当者名（可能ならば）を具体的に記入する。

③領域については，5 頁の「ガイダンスカウンセラーのカリキュラム表」に基づいて，単位を修得した授業科目が，どの領域に当てはまるか，例にならって記入する。各領域には，代表的な授業科目名が配置されているが，個々の大学院での開設授業科目名とズレがあるので，近い領域をあてはめること。

ガイダンスカウンセラーのカリキュラム表

領域	分野		科目名（例）	内　　容　　（例）			
心理学関連領域	Ⅰ 発達課題に関する心理的基盤	1	発達心理学	発達課題	言語・認知の発達	人格・社会性の発達	発達の遅れ・障害
		2	教育心理学	授業と学習理論	学習意欲と動機づけ	学級集団の心理	教育評価
		3	キャリア心理学	キャリア発達	キャリアデザイン	キャリアの内容 (キャリア理論①)	キャリアの過程 (キャリア理論②)
		4	問題行動の心理学	反社会的行動 －いじめや校内暴力	非社会的行動 ―不登校	神経症的行動	習癖的行動
	Ⅱ ガイダンスカウンセリングの理論と方法	5	カウンセリング理論	精神分析理論	自己理論	行動療法理論	認知行動療法理論
		6	カウンセリングスキル	個別面接	行動カウンセリング	論理療法	ブリーフセラピー
		7	グループアプローチ	構成的グループエンカウンター	教師のサポートグループ	ロールプレイング	サイコドラマ
		8	サイコエジュケーション	ソーシャルスキル教育	ショートレクチャー (こころの教育)	アサーション トレーニング	予防的カウンセリング
		9	キャリアガイダンス	キャリアガイダンスの歴史	キャリアガイダンスの活動	個別の指導プログラム	集団の指導プログラム
		10	心理教育的 アセスメント	心理テストの原理と実際	心理・性格面のアセスメント（子どものアセスメント①)	学習・知能面のアセスメント（子どものアセスメント②)	学級・学校のアセスメント（集団・環境のアセスメント）
		11	コンサルテーション	担任教師へのコンサルテーション	保護者へのコンサルテーション	学校管理者へのコンサルテーション	医療・福祉機関等へのコンサルテーション
		12	システムづくり	特定の子どもに対するチーム援助	学校レベルでのコーディネーション	地域レベルでのコーディネーション	学校における援助サービスのマネジメント
		13	ソーシャルワーク	ソーシャルワークの原理	社会的資源・福祉情報	家族関係論	カウンセリングとソーシャルワークの異同
教育学関連領域	Ⅲ 学校教育に関する理論と方法	14	ガイダンス	ガイダンス概論	学業・進路	人格・社会性	心身の健康
		15	特別支援教育	特別支援教育概論 (歴史を含む)	障害の理解と支援	個別の指導計画や教育支援計画	通常の学級での特別支援（集団内での対応)
		16	学級・ホームルーム経営	教師と児童生徒との関係	学級の活動	生徒指導・教育相談・進路指導・キャリア教育	保護者との連携
		17	学校経営（組織化，計画・運営）	学校の管理と運営	リーダーシップ	危機管理・クライシスカウンセリング	学校評価
		18	授業改善	分かる授業(学習指導案)	対話のある授業	教材・教具の活用 (ICT 等)	授業評価
	Ⅳ ガイダンスカウンセリングの基礎	19	カウンセリング心理学	カウンセリング心理学概論(臨床心理学との相違)	カウンセリング心理学の歴史	カウンセラーの役割	カウンセラーに必要な基本的態度とスキル
		20	学校心理学	学校心理学概論 (臨床心理学との相違)	学校の援助サービスの種類	教師・保護者への援助	学校での援助のシステム
		21	思想・哲学	自然主義 (ナチュラリズム)	プラグマティズム	実存主義	論理実証主義
		22	法と倫理	教育基本法	学校教育法（施行規則を含む)	地方教育行政の組織及び運営に関する法律	職業倫理
		23	社会・文化論	パーソナリティの文化論	学校や教育の社会学	家族論	児童文化

受験にあたっては本書を必読してください

ガイダンスカウンセラー入門

スクールカウンセリング推進協議会編著

定価：1,540 円（税込）判型：A5 判,128 ページ

目次

第１章　日本におけるガイダンスカウンセリングの起こり
第２章　スクールカウンセリング推進協議会
第３章　ガイダンスカウンセリングとガイダンスカウンセラー
第４章　ガイダンスカウンセリングを支える学問
第５章　臨床心理士とガイダンスカウンセラー，スクールソーシャルワーカーの資格の相違
第６章　ガイダンスカウンセラーの今後の課題
第７章　資格認定の考え方と方法
第８章　ガイダンスカウンセラーの自学自習
第９章　ガイダンスカウンセラーとガイダンスカウンセリングの実際

刊行：図書文化社

2023 年度ガイダンスカウンセラー資格認定試験Ⅰ実施要項

2023 年 7 月 3 日発行

発行元：一般社団法人日本スクールカウンセリング推進協議会
理事長：石隈 利紀
所在地：〒112-0012　東京都文京区大塚 1-4-15　アトラスタワー茗荷谷 3F
TEL：03-3941-8049 FAX：03-3941-8116 E-mail：info@jsca.guide　URL：http//jsca.guide/